midorinodam.jp

NPO法人
緑のダム北相模

March 2013 No.347-348

３月号の１枚：フォレスとキッズスクール間伐体験

［巻頭言］ 道徳なき経済は犯罪であり、経済なき理念は世迷いごとである

二宮尊徳の言葉に思う

神奈川県・小田原・酒匂川沿い栢山の地が生んだ農村経済再建の偉人の言葉である。

してみれば、経済を生まない森林・林業政策は〝世迷いごと“であろうか。いささか過激だとは思うが、「道徳なき経済は犯罪であり、経済を生み出せない林政は世迷いごとである」。

中北欧では、林業と経済が調和している。東洋・日本林業の低迷は何故か。

廃墟と化した戦後日本を立て直そうと必死に働いてきた戦後昭和の人々の努力は、尊敬している。だが、一次産業（農林水産業）特に、森林・林業の「自然との共生」と言う大前提を見落とていた林政が、子孫・平成人を苦しめ始めている。当会の森にくる平成の若者達は「昭和のツケを埋め合わせよう、後世に苦しみを残してはならない」と解決しようと知恵を絞り、自ら森林整備に汗を流している。高齢化と言う流れの中、未だ生き残っている昭和人たちは、平成の若者達の上に胡坐をかいていてはいけない。未だ、間に合う。昭和人は、余命の最後の力を振り絞って平成人・若者達の力になってやらねばならない。

禁欲主義が良いとは限らないが以前、「豪華15日間、800万円の北海クルーズの旅」と言う新聞広告に目を剥いた。

石村　黄仁（本会、代表理事）

今月の定例活動

2013.03

3月 3日（第一日曜日）：
小原本陣の森/森林整備、担い手育成、技術向上。
持続的森林経営：弁当持参。参加費：４００円

3月17日（第三日曜日）：
相模湖・嵐山の森/里山交流、多様な森林活動。
主食・自分のお椀・箸・飲料水は持参。参加費：４００円

FSC
www.fsc.org
FSC® C006376
責任ある森林管理のマーク

[定例活動]小原本陣の森

2月3日（第三日曜日）

厳しい寒さの中、２か月ぶりに小原定例活動が行われました。先月は1月6日に活動を予定していたのですが、1月10日までは山に入ってはいけないという仕来りがあるので、活動はありませんでした。今月の学生団体Forest Nova☆からの参加者は１４名で、OBで林業家の斉藤さん二藤さん、OGの神宮さん、千葉大学や首都大学東京の人も参加してくれました。最近では、小原での活動にも嵐山での活動のように、様々な大学の人が参加してくれるようになったと感じています。小原での活動は、嵐山とは違った風景や作業のやり方があるので、嵐山と小原の２つの森に来てくれることは森への理解をより深めると思うので嬉しく思います。今月の活動は、ハイキングコースまでの径路を作る班と、嵐山にあるカブトムシ牧場に使う木の板を製材する班の2班に分かれて行いました。

径路を作る班は、今までに作った長い径路を登らなければならないので若い大学生でも息が上がるほどでした。その後、休憩を少しとり、径路の整備作業にかかりました。OBで林業家の斉藤さん二藤さんのおかげもあり作業は順調に進み、ついにハイキングコースまでの径路が完成しました。先輩や緑のダムの方々が何年も前から汗水流して作ってきた長い長い径路がついに完成したのは感無量でした。これからは、今までに作った径路で脆くなっている場所や登りにくい場所などを補修していく予定です。

製材をする班は、嵐山からチェーンソーと製材機を持ってきて２か所で製材を行いました。片方のチェーンソーの調子が悪かったのですが、緑のダムの松尾さんや斉藤さんに指導してもらいながら、なんとか長さ４m厚さ６ｃmの板を３枚作ることができました。また、緑のダムの斉藤さんからチェーンソーの目立てについてなどたくさん教えてもらいました。講習を受けてはいるのですが、まだまだ経験が浅くわからないことが多いので、とてもいい勉強になりました。早くチェーンソーの技能が一人前になれるように、これからも精進していき、将来は日曜大工でチェーンソーを操り、間伐材でログハウスを作れたらなと思いますので、これからも御指導のほうをよろしくお願いします。

治田　世以良（Forest Nova）

[定例活動]相模湖嵐山の森

2月17日（第三日曜日）

まだまだ寒い日が続く。しかし、陽がさせば空気の柔らかさがそこはかとなく感じられる季節。嵐山の山主・鈴木さん宅のフクジュソウも花を開き始めている。今回の参加者は54名。

この日の定例活動は翌週に開かれる第２回フォレストキッズ・スクール（主催：全国森林インストラクター神奈川会、後援は当会）の下見と重なった。イベントは主に子供たちを対象とした森林体験教室。今年は樹木観察クイズ、間伐体験を行う予定だ。お昼にはキノコ汁、サケのチャンチャン焼きをつくろうと神奈川会スタッフも張り切っている。

午前中、スタッフ４人とともにクイズ用の樹木を選定し、そこに番号札を掛けていくことに。スギ、トチノキ、ケヤキ、クロモジ等、計１０種。普通に作業をこなしていけばさっさと終了するはずなのだが、そこは森林インストラクター。あっちで道草、こっちで脱線を繰り返すため、時速300mの歩み。皆さん、本当に森が好きなんですね。

お昼を済ませてからもイベント本番のための細かな打合せ、間伐用の選木に時間がかかってしまったため、活動全体の様子をよく把握できていないのが悔やまれる。

だが、フォレストノバ・淺野君から報告があったのは有り難い。「午前に新規参加者の方を対象とした森

林散策。ノバの森の頂上まで登り、森の歴史、今後の整備計画をお話ししました。また、径路整備とイベント用の木工作品の試作、前川ＯＢからの測量指導を受けました」。先月からの宿題である掛かり木も無事に処理できたとのことで何より。森林整備班は材の搬出。お花畑班は皆で運んでもらった竹材を使い、モッコウバラのアーチを完成したようである。来春の花景色が待ち遠しい。

体験学校ではあらかじめ用意しておいた板材を組み立て、新たに３つめのカブトムシ牧場を完成させたようである。いったいどれだけのカブトムシが羽化していくのか。子供たちの森林環境教育にぜひ役立てたいものである。子供たちといえば、今日は高井戸中・宮村さんが風邪をこじらせてしまったため、生徒たちも来ていない。若い歓声が聞こえないのは何となく寂しいものだが、次回を期待したい。

我々が作業している間、その傍らでアオジ、エナガ、ジョウビタキなどの小鳥たちがいつになく元気に飛び交っていた。春はもう近いだろう。

内野郁夫（本会、理事）

[報告１]
湘南の森活動報告

1月11日は、林下の草本はしっかり枯れ上がり、それに代 わって笹や低灌木が目立ってきた。それらを整理した。 するとほとんどの小さなヤマグワは地際がコウモリガ そしてやや高いところはカミキリムシ類に加害されていた。

その中で樹高約4mのヤマグワの90cm高のところから メダケが芽を出していた。カミキリムシの食害孔に女 竹が潜り込んで、脱出孔から芽を出したと思われる。

ウスタビガの黄緑鮮やかな繭（抜け殻）が強い風で クヌギなどの落葉とともに地上に落ちていた。生育期 には全く目にしないが、湘南平には種が保存できる個 体群がいると思われる。

さらに1月26日では、前回に引き続いて、ササの刈り取りを行いさ っぱりした。今後の活動予定である天狗巣病などで弱 ったサクラの伐採に向けて、道具や手順の確認を行った。

この地域では珍しいサトイモ科のシマテンナンショ ウが早くも新芽が地上に顔を出していた。

佐藤　憲隆（湘南の森）

[報告２]
第２回フォレストキッズ・スクール『きこりになろう！』を開催

2月24日

第２回フォレストキッズ・スクールが相模湖・嵐山で開催されました。後援は当会、実施は全国森林インストラクター神奈川会（JFIK）。

このイベントは主に子供たちを対象とした森林体験教室。「きこりになろう」のタイトルにあるように木も伐ります。風が強くちょっと寒い天気でしたが、ガールスカウト東京都第18団、110団を中心に27名の参加がありました。

開会式の後は森林散策。まだ凍った雪が残る径路を歩きながら、樹木クイズ「この木なーんだ？」に挑戦です。スギ、トチノキ、ホオノキ、クロモジなど１０種の樹木の性質・活用等を JFIK スタッフがユーモアを交えて解説していきます。参加者は楽しそう。最後はスズメバチの見事な巣も鑑賞できました。

お待ちかね。お昼はキノコ汁とチャンチャン焼き。これも JFIK スタッフが心を込めての力作。寒い日にはなによりのご馳走です。鍋まで往復する参加者の姿を多く見かけました。

午後はまずフォレストノバ・望月さんの紙芝居から始まります。森の大切さをやさしく丁寧に説明してもらいました。こんな紙芝居、JFIK でもつくってみたい！

さて、その後はいよいよ間伐体験です。伐るのは径３０ｃｍほどのスギ。子供たちはスタッフの指導を受け交互に鋸で受け口を切りますが、少々手こずっている様子。慣れない作業だもの、仕方ないですね。それでも何とか追い口を切るところまで漕ぎつけました。後は皆で力を合わせロープで引っ張ります。ドーンと木の倒れる瞬間には皆感激！さらには径６～７cmのアブラチャンの木も持ち帰り、薄く輪切りにして名札、コースターづくり。お土産にしてね。

閉会式では全員に修了証を進呈。アンケートには「寒かったけど、クイズも分かりやすく、木を倒すときの迫力は感激で、森の知識も沢山勉強できました」「自然の大切さがよく分かり、こんな機会あればまた参加してみたい」との感想が多く寄せられました。寒い一日ではありましたが、子供たちの熱意と感謝にスタッフの心は温まったように思います。

内野郁夫（本会、理事）

[報告３]
嵐山定例活動と新年会

1月20日。松の内も過ぎすっかり正月気分も抜けた中、今年初めての嵐山での活動を行いました。この日の活動にはForestNova☆からは麻布大学、千葉大学、日本大学、法政大学の学生に加え、東京学芸大学の環境教育研究室の樋口先生と研究生の学生6名の合計20名が参加しました。

活動内容は、初めて参加した方への森林散策、昨年の間伐の際に掛かってしまった木の処理、そして間伐を行いました。

森林散策では、緑のダムの方をはじめとした、たくさんの方によって整備されている嵐山の現状をお話しながら林内を歩いて行きました。参加者の方からは、大人から中学生までこんなにたくさんの方が整備をしている森は初めて、とのお言葉をいただきました。

掛かり木は無事処理することができたのですが、新たに間伐した木が、再び掛かり木になってしまいました。前回はその場でどうしていいか迷ってしまい、立ち往生してしまう場面もあったのです

が、今回はその反省を生かし、始めから掛かることをある程度想定して行ったので、次の行動に支障をきたすことがありませんでした。

失敗なくして成功なし、との言葉通り、日々の活動の中でたくさんの成功や失敗を繰り返し、次に活かしていければと思います。

活動後は相模湖交流センター内の喫茶店「青林檎」にて、新年会を行いました。司会を務める伊藤さんのハリのある、元気な声で開会が告げられると、年齢や性別関係なく、森について、日々の活動についてを熱く語り合います。しばらくすると、今年一年の抱負を一人ずつ発表することになりました。緑のダムの理事を務める石村さんを始め、普段活動に参加している皆様のお言葉を聞いていると、「森林破壊という負の遺産を子孫に残してはならない」という活動理念を、いかに真剣に考え、そして行動しているかが分かってきたような気がします。

普段の定例活動内ではそれぞれの活動が忙しく、中々話す機会がないので、このような場を設けていただけること、そしてForestNova☆がこんなにも素晴らしい方々に囲まれて活動ができていることに深く感謝しています。

私達学生が、森のために何ができるか。その答えは未だ見つかりません。しかし、その中でもしっかりと前を見据え行動していくことで、一筋の光を見つけていきたいと思っています。

今年も、そしてこれから先もずっと私達ForestNova☆をよろしくお願いいたします。

淺野　雅樹（Forest Nova）

予告：
取り敢えず、今年の半年間楽しい森の広報活動！
参加歓迎！

〇森林整備活動は更に楽しい：森林整備班、生態系調査班、木工班、養蜂班、お花畑班等

〇3月17日（日）：恒例の「梅の樹の下の茶席」

〇4月6日（土）7日（日）
第40回相模原市民桜まつりに参加

〇5月18日（土）または
6月30日（日）で日程調整中
林業研究会
場所は相模原市立環境情報センター、午後1時30分～
「社会資本としての森林」
講師・箕輪光博東大名誉教授
「森林資源のサプライチェーン」
講師・酒井秀夫東大院教授
麻布大学生連合フォレストノバによる「森の寸劇：（計画）」

〇5月19日（日）
森の救急講習会
指導・石井晃元消防官
場所は相模湖嵐山の森

〇6月16日（日）
初夏の森の中の音楽会：検討中

〇7月21日（日）
緑のダム森林体験学校
場所は相模湖嵐山の森

〇8月13日（火）から24日（土）
青山、国連大学1F地球環境パートナーシッププラザで材積み木のアンコールワット、上智大学アジア人材養成研究センター、NPO海の織道実行委員会、杉並区立高井戸中学校地球環境部との共催

石村　黄仁（本会、代表理事）

[事務局からの
お知らせ、お願い]

平成２４年度杉並区学校文化栄誉顕彰を受賞

　相模湖嵐山の森で活動する杉並区高井戸中学校地球環境部が、コカコーラ環境教育賞を受賞したことから、同顕彰を受賞、2月28日に杉並区役所での表彰式に参加しました。来月号にて報告いたします。

NPO法人22世紀やま・もり再生ネットから助成をしていただいています

　今年度、同会よりForestNova、東海大望星高校、杉並区立高井戸中学校地球環境部の若者による森づくりの活動に対するご支援をいただいております。活動の目的、成果などは順次報告していきたいと思います。

会員コーナー

●会員のコーナーでは、皆さんの自由なご意見やご提案をお願いいたします。下記の専用メールアドレスか、事務局FAXまでご連絡ください。また、こちらのコーナーへの投稿や写真の提供もお待ちしております。

●通帳からですと振り込み手数料が掛かりません。
　領収書はゆうちょ銀行等の発行する領収書をご利用下さい。
　また、新規入会の方は、住所、電話番号を事務局にお知らせください。
　振込の際は局の振込用紙に記号、番号を記載し、振込者の情報を記入して、機械操作にてお振り込みいただけると助かります。

世田谷郵便局　（記号）10000-（番号）65791651

●第11期（2012年9月～2013年8月）、会費を納入いただいた方を先月号からご紹介させていただいています。会へのご支援ありがとうございます。

正会員　原田公

参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前集合してください。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食；自分の食器(お椀・お箸)

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

NPO法人
緑のダム北相模

急がず、無理せず、楽しく、休まず、
ボチボチと・・。
そして、沢山の参加で森は、良くなる。
（台風の日は勉強会開催。１３年間、
一日も休まず“継続は力”。）

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
事務局：154-0023　東京都世田谷区若林３－３５－９
発行人：NPO緑のダム北相模　事務局 Tel&Fax　03－3411－1636
ＵＲＬ：http//www.midorinodam.jp
E-mail：info●midorinodam.jp　●を＠に変更して使用してください
corner●midorinodam.jp　会員コーナー専用アドレス

協働団体：セブンイレブンみどりの基金、相模原市（市民協働推進課）、東海大学付属望星高等学校、生命の森宣言・東京
支援団体：WWF JAPAN、イオン財団、市民社会チャレンジ基金、神奈川県建具協同組合、JFEメカニカル、東急コミュニティ、マルモ出版